

# 宗四小だより 3月号

志木市立宗岡第四小学校  
志木市上宗岡1-1-2  
048-473-5250  
平成28年 2月26日

学校教育目標 ○考える子ども ○思いやりのある子ども ○はたらく子ども  
○じょうぶな子ども

## 「やれなかった やらなかった とっちな」

校長 坂口 栄二



土手沿いの河津桜

### 本格的な春が近づいています!! 今年度を振り返りましょう

寒くなったり暑くなったり、体調を整える事が難しい気候が続いています。しかし、一步一步、春に近付いているようです。

3月は今の学年のまとめの月です。万全の体調でしっかりまとめをしてほしいと思います。体調管理をお願いします。

#### 体験することの大切さ

2月末の授業参観・懇談会にはたくさんのご来校をいただき、ありがとうございました。どの学年も1年間の成長を感じることができたのではないのでしょうか。

そのような成長ができたのは、この1年間、様々な体験を積んできたからだと思います。うまくいったこと、うまくいかなかったこと。たくさんの体験をしたからこそ成長できたのだと思います。

花を支える枝  
枝を支える幹  
幹を支える根  
根は見えないなあ



正門わきの紅梅

上の言葉は、日本の詩人、書家である相田みつを氏の名言です。子供たちは、それぞれが将来素敵な花を咲かせるために成長し続けます。素敵な花を咲かせるには、花を支える枝やその枝を支える幹、その幹を支える根が必要です。

子供たちは今、根を育てている段階です。人間関係づくりの基礎、学習の基礎、生活の基礎などの人間としての根を様々な体験から学んでいます。

根がしっかりしていれば、幹も枝も倒れることはありません。素敵な花を咲かせることができます。反対に、根がしっかりしていなければ、花を咲かせる前に倒れてしまいます。体験を生かしてしっかりした根をはりたいものです。

4月から子供たちは進級します。新しい学年になった時、よいスタートを切るためには、今年度をしっかり振り返っておくことが大切です。

まず、しっかりやれてうまくいったことできるようになったことを振り返り、自信をつけましょう。そして来年もさらに取り組んでみましょう。

そのあと、うまくやれなかったこと、できるようにならなかったことを振り返りましょう。できなかったことを思い出すことは、いやかもしれません。しかし成長するためには、とても大切なことです。

冒頭の「やれなかった やらなかった とっちな」も相田みつを氏の名言です。

「やれなかった」と考えてしまうことは理由（言い訳）を考えることです。「やらなかった」と考えることは自分の意思（心）の問題と考えることです。

やってみればできるようになれたこともあったのではないのでしょうか。自分自身の心を盛り上げて、やってみれたことはなかったでしょうか。

毎朝、校門でハイタッチあいさつ運動をしています。子供たちは実に様々です。大きな声であいさつしながら力いっぱい手にタッチしてくる子が多くなりました。実に気持ちがよくなります。他にも指先だけタッチしてくる子、あいさつだけでタッチしない子など、実に様々です。

やってみてわかることがたくさんあります。やってみないとわかることは少ないと思います。

この1年、やりたくてもできなかったのか、本当はやれたのにやらなかったのか振り返り、あと1カ月、やれることは今からでもやってほしいと思います。そして、新しい学年を気持ちよくスタートできるようにしてほしいと思います。